第2回南砺市立中学校部活動のあり方検討委員会

令和3年2月5日(金)午後7時00分~ 南砺市役所 別館3階 大ホール

1. 委員長あいさつ

- 2. 報告事項
- (1)「南砺市立学校のあり方に関する提言書」について

資料1

(2) 各委員から寄せられた意見や質問等について

別冊

- 3. 協議事項
- (1) 生徒数の減少に伴う部活動の削減について

資料2~7

- (2) 部活動削減の方法について
- 4. 次回協議会の日程
- (1) 第3回検討委員会 令和3年3月 日()19:00~
- 5. 副委員長あいさつ

写

南砺市立学校のあり方に関する提言書

令和3年1月

南砺市立学校のあり方検討委員会

提言

情報化・グローバル化や少子高齢化などのめまぐるしい社会環境の変化や 新型コロナウイルスの蔓延による生活様式の変化は、子どもの教育環境に大 きな影響を与えています。特に少子化の進行に伴う児童・生徒数の減少によっ て生じる、小・中学校における学習指導や部活動運営などの様々な課題に対応 していく必要があります。

また、現在の小・中学校を今後もすべて維持していく場合は、校舎の大規模 改修や改築、修繕などに多額の経費が必要となります。持続可能な行政運営の 視点から、学校施設についても、行財政改革・公共施設再編による経費の削減 が求められています。

このような中、将来を見据えて、子どもにとって望ましい教育環境や学校運営を最優先事項として「南砺市立小・中学校のあり方」を検討するため、令和 2年9月に「南砺市立学校のあり方検討委員会」が設置されました。

本委員会では、子どもの成長に求められる教育課程や望ましい地域との関わりを考慮しつつ、中・長期的な展望に立って、学校配置の基本的な方向性について議論を深めてきました。

学校の適正規模・適正配置の基準については、画一的なものではなく、各地域の特性を踏まえて考える必要があります。特に、市域の広い本市では、通学の負担に配慮するとともに、各地域の協力で進めてきた学校運営の意義を尊重することが重要であると考えます。

各学校の教育環境におけるデメリットを解消しながら、地域や各種団体と 連携をして、一層充実した学校教育が確立されるよう期待し、次のとおり提言 します。

【I 学校設置の基本的な考え方】

- 1. 地域を基盤とした小中一貫教育を推進し、令和27年度(2045年度)には、現在の8中学校区にある小・中学校を義務教育学校とする方向で進めていく。
 - ※ 年次計画は、別紙「南砺市立小・中学校のあり方について」を参照
- 2. 児童・生徒及び保護者の通学にかかる負担に配慮し、多くの児童・生徒が徒歩と自転車で通学することが可能な学校配置とする。

【Ⅱ 学校運営の基本的な考え方】

市内の8地域(合併前の旧町村)で培われてきた固有の文化を大切にしながら、地域と一体となった学校運営を行う。

【Ⅲ 学校のあり方に関する検討について】

概ね5年毎に「南砺市立学校のあり方検討委員会」を設置し、将来の児童・ 生徒数の見通しを踏まえて、望ましい学校の設置や運営のあり方について 再度協議する。

今後は、本検討委員会での提言内容の周知を図るとともに、保護者など地域の意見を広く聴く。

次回は、「南砺市公共施設再編計画」の改訂年度の前年度にあたる令和6年度に設置する(4年後)。

令和3年1月5日

南砺市立学校のあり方検討委員会 委員 長 松 山 友 之

令和3年1月5日 提言 南砺市立学校のあり方検討委員会

将来に向けた学校教育の役割「地域の人たちとの交流をとおして人間性を育む」

学校設置の基本的な考え方

- 地域を基盤とした小中一貫教育を推進し、令和27年度(2045年度)には、現在の8中学校区にある小・中学校を義務教育学校とする方向で進めていく。
- ・ 児童・生徒及び保護者の通学にかかる負担に配慮し、多くの児童・生徒が徒歩と自転車で通学することが 可能な学校配置とする。



南砺市は

〇安心して暮らせる地域

⇒ ◎移住・定住・Uターンの促進

(若者が家を建てられる地域)

(人口ビジョンの目標達成に向けて)

学校のあり方に関する検討について

※ 概ね5年毎に「南砺市立学校のあり方検討委員会」を設置し、将来の児童・生徒数の見通しを踏まえて、望ましい学校の設置や運営のあり方について再度協議する。 (あり方の方針等を変更する場合など、必要に応じて5年から短縮する。なお、次回は4年後の令和6年度に設置する。(令和7年度の公共施設再編計画改訂年の前年))

年次	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2025年度(R7)頃までに	20○○年度(R★)頃から随時	2045年度(R27)
A)学校数	小学校9校 中学校8校	···(△1校:井口小)	【15校~14校】 小学校7~6校 …(△2~3校:井口小、利賀小、福光南部小) 中学校6校 …(△2校:井口中、利賀中) 義務教育学校2校 …(+2校:井口、利賀) 地域を基盤とした小中一	【15校~14校】⇒【●●校】 ◆保護者が望み地域の了解が得られた場合は、再編統合も検討する。 【	【8校】 義務教育学校8校 …<井波、井口、利賀、城端、平・上平、 福野、福光、吉江> ◆2060年度には ・児童生徒数によっては、小規模校を統合再 編する【7校~6校に】。
		①南砺つばき学舎(井口地域義務教育学 校)の開校	②利賀地域義務教育学校の開校 (2) 利賀地域義務教育学校の開校	④小中学校区単位で、小学校・中学校の 全学年が単級(1学年1クラス)になった学 校から、義務教育学校へ移行する。	⑤8中学校区にある小・中学校を義務教育 学校とする方向で進めていく。
B)学校再編	・しかしながら、適正規模を下回れば統合の必要があると考えられる。 ・井ロ小、井ロ中…短期に小中一貫校を検討する。 ・利賀小、利賀中…短期に小中一貫校を検討する。 ・福光南部小…複式学級が2学級以上となった場合、統合を検討する。		③福光南部小学校の統合 ※ 複式学級が1学級になった時点で、福光中部 ⇒ すべての小・中学校で、地域を基盤としたり体制が整う。 ※ 学校区域外へ入学する特認校制度の導入に ※ 福光地域の福光中部小・福光中と福光東部・中学校2校を1校に統合することも選択肢とする		
	における趣旨 第2次南砺市公共施設再編計画は、南砺市公共 施設等総合管理計画で定めた30年後の公共施設 保有量を約50%、25万㎡を目標に縮減することを 受け、維持すべき施設機能を考慮しながら約19万	移行にあわせて、未使用部分の解体を行	②利賀小・利賀中の義務教育学校への移行に	④義務教育学校は、各校区の小学校もし くは中学校の校舎を利用して設置すること	義務教育学校として再編することにより、未使用の学校校舎を解体もしくは用途変更を行うため、学校施設保有面積が削減となる。 ◆2060年度には 小規模校を統合再編した場合は、未使用の
C)公共施設再編 受 ㎡のつ	㎡の個別施設の具体的な再編の方向性を定めたものである。		③福光南部小の学校校舎を解体もしくは用途変	学校校舎を解体もしくは用途変更を行う。	
D)目標人口等	◆2020年 - 南砺市人ロビジョン目標人口 48,208人 (うち児童数2,107人、生徒数1,118人) - 社人研推計人口 48,028人(目標人口との差:180人) (うち児童数2,107人、生徒数1,118人) (R2.4.1現在児童数2,107人、生徒数1,210人) ※ 児童生徒数は、市教委試算		◆2025年 ・南砺市人口ビジョン目標人口 45, 422人 (うち児童数1,980人、生徒数987人) ・社人研推計人口 44, 627人(目標人口との差:795人) (うち児童数1,861人、生徒数975人) (出生数より児童数1,881人、生徒数1,047人) ※ 児童生徒数は、市教委試算	◆2035年 ・南砺市人ロビジョン目標人口 40,122人 (うち児童数1,832人、生徒数926人) ・社人研推計人口 37,833人(目標人口との差:2,289人) (うち児童数1,437人、生徒数761人) ※ 児童生徒数は、市教委試算	◆2045年 ・南砺市人ロビジョン目標人口 35,178人 (うち児童数1,894人、生徒数918人) ・社人研推計人口 31,017人(目標人口との差:4,161人) (うち児童数1,168人、生徒数605人) ※ 児童生徒数は、市教委試算

生徒数の減少に伴う部活動の削減イメージ

パターンA: 学校で定めている部活動削減の基準に沿って削減する

(例:2年連続入部者がいなくなったら募集停止とし、部員がいなくなったら廃部とする)

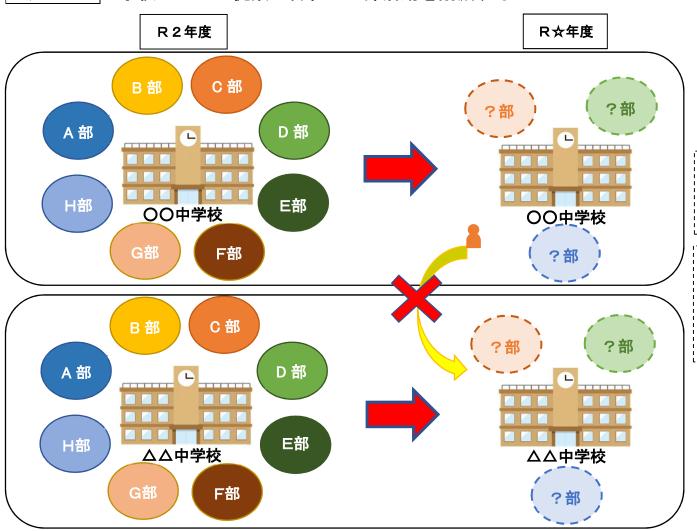
(例:連続する2学年でチームが組めなくなったら募集停止とし、部員がいなくなったら廃部とする)



- ・募集停止の条件に達しても、関係者や保護者からの存続要望がある。
 - → その結果、部員数が少数のまま存続する。
 - ・チームスポーツでは、単独でチームを編成できず、合同チームが編成 可能な学校のみとチームを編成して大会に出場する。
 - ・全国大会につながる大会(地区選)では、個人戦のある競技は、団体戦は単独校のみ出場可能なため、個人戦にしか出場できない。

生徒数の減少に伴う部活動の削減イメージ

パターンB:学校ごとに生徒数に合わせて部活動を削減する



居住地の指定中学校以外の 校区外中学校へは入学できない。

- ・学校ごとに、部員数の少ない部活動を廃部とする?
- ・学校ごとに、指導者のいない部活動を廃部とする?

生徒数の減少に伴う部活動の削減イメージ

パターンC: 市全体でコントロールしながら部活動を削減する

一市として運用 ◎拠点校化案 各部を各校で分担 小中一貫した指導 ★部活動のために校区を越えた就学可 ※条件により通学補助あり A部 B部 C 部 D部 ◎地域指導力(教育力)の有効活用 ◎部の数を精選→切磋琢磨、活動の充実 ◎小中一貫の指導体制 △校区外からの通学に時間がかかる 顧問 3~4人/部

生徒数及び部活動設置数の現在の状況と10年後(R12)の予測

※R2の数値は5月1日現在

中学校名	項目	R 2		R12								
	生徒数	206		現状レベル 持続可能 140								
	男子	96		62								
井波中	女子	110		7	8							
	設置数	11	,	7	5							
	平均部員数	18.7人		18.7人	25~30人							
	生徒数	18		1	7							
#	男子	8		8								
井口中 つばき学舎	女子	10	\	(9							
りはさ子音	設置数	3		2	2							
	平均部員数	6.0人		6.0人	_							
	生徒数	5		7								
	男子	2		4	4							
利賀中	女子	3	\	,	3							
	設置数	2		2	1							
	平均部員数	2.5人		2.5人	_							
	生徒数	220		1:	19							
	男子	119		50								
城端中	女子 101			6	9							
	設置数 (男女別)	14		8	5							
	平均部員数	15.7人		15.7人	25~30人							

中学校名	項目	R 2		R 1 2 現状レベル	R 1 2 ~ 持続可能					
	生徒数	40		21						
平中	男子	20			3					
	女子	20		1	.3					
	設置数 (男女別)	5	·	3	2					
	平均部員数	8.0人		8.0人	_					
	生徒数	350		30	03					
	男子	195		1!	52					
福野中	女子	155		1!	51					
	設置数 (男女別)	20		17	11					
	平均部員数	17.5人		17.5人	25~30人					
	生徒数	187		1!	58					
	男子	93		85						
福光中	女子	94		7	'3					
	設置数 (男女別)	13		11	6					
	平均部員数	14.4人		14.4人	25~30人					
	生徒数	183		111						
	男子	106		5	58					
吉江中	女子	77		5	3					
	設置数 (男女別)	15		9	5					
	平均部員数	12.2人		12.2人	25~30人					

部活動ごとの基準人数

部活動名	1チーム	3 学年	備考
, , , , , ,	の人数	合計	0
陸上競技(男子)	-	16人	※種目数16 リレー1チーム4人
陸上競技(女子)	-	12人	※種目数12 リレー1チーム4人
バスケットボール(男子)	5人	15人	
バスケットボール(女子)	5人	15人	
サッカー	11人	33人	※競技成立7名
軟式野球	9人	27人	
ソフトボール	9人	27人	
バレーボール(男子)	6人	18人	
バレーボール(女子)	6人	18人	
ソフトテニス(男子)	6人	18人	
ソフトテニス(女子)	6人	18人	
卓球(男子)	6人	18人	
卓球(女子)	6人	18人	
バドミントン(男子)	5人	15人	※競技成立3名
バドミントン(女子)	5人	15人	※競技成立3名
柔道(男子)	5人	15人	※競技成立3名
柔道(女子)	3人	9人	※競技成立2名
剣道(男子)	5人	15人	※競技成立3名
剣道(女子)	5人	15人	※競技成立3名
なぎなた	3人	9人	※競技成立2名
吹奏楽	_	30~50人	※楽器の種類18~32種類 大編成の部上限50名
美術・家庭	-		

今和2年度	部活動及び小	1、学校段階の	活動の所屋	人数—	
		´ ̄ ̄ 入	ノロ キハマノノハ バス	/\ % X	TT.

【運動部活動】													, 16				P7 H	/3/			•	1/1/	^PH	77/LI 3	<i>,,, ,,</i>	7717	/ /		× 3										【運動部活動】			
部活動名	/.	学生		#	波中			学生		井口中		Ŧ	削賀中			小学生		城端	中	⅃Ĺ	小学	生		平中	/	小学生			福野中		小学生 進学2		Ť	富光中			吉江中		部活動名		中学生合計	
	1-3年	-6年 合	計 1:	年 2年	3年	合計	1-3年 4-	6年 合計	1年 25	年 3年	合計	1年 2年	3年	合計	1-3年	4-6年 合1	1年	2年(3	3年 合	#	-3年 4-6年	合計	1年 2年	3年 合計	1-3年	4-6年 셤	計 1	1年 24	ቹ 3年 合 1	1-3年	4-6年	合計	1年 2年	3年	合計	1年 2	年 3年	合計		1年	2年 3年 合	計
陸上競技(男子) (城端中は陸上・スキー)			,	5 8	10	23									6	4 10	9	3	3 1	5					0	3	3			2	7	9	7 4	8	19	11 !	5 13	29	陸上競技(男子) (城端中は陸上・スキー)	32	20 34 8	<i>;</i> 6
陸上競技(女子) (城端中は陸上・スキー)			-	6 5	4	15									2	5 7	7	8	4 19	•∐_					0	2	2			2	7	9	3 6	3	12	1 2	2 6	9	陸上競技(女子) (城端中は陸上・スキー)	17	21 17 5	j 5
バスケットボール(男子)	0	8	B 1	0 2	8	20										İ	3	4	6 13	3					4	13 1	17	6 7	9 22	2 1	13	14	2 1	1	4	6	5 8	19	バスケットボール(男子)	27	19 32 7	/8
バスケットボール(女子)	3	4	7	7 3	3	13																			9	11 2	20	0 7	1 8	0	7	7	9 1	5	15				バスケットボール(女子)	16	11 9 3	16
サッカー	19	37 5	6	7 12	2	21														Ш					11	30	41	2 8	16 20	16	13	29	6 6	2	14				サッカー	15	26 20 6	i1
軟式野球	1	12 1	3	4 6	9	19									13	18 31	1 5	4	7 10	6 F					3	17	20	5 6	3 4 1	10	17	27	5 3	6	14	2	2 3	7	軟式野球	21	21 29 7	/1
新体操						0																																	新体操	0	0 0	0
バレーボール(男子)																				$\exists \vdash$	1 9	10	7 1	5 13	1	8	9	2 6	2 10	2	11	13			İ	3	4 3	10	バレーボール(男子)	12	11 10 3	13
バレーボール(女子)	1	7	в ;	3 8	8	19											9	6	4 19	╗					1	6	7	8 4	2 14	4 3	4	7							バレーボール(女子)	20	18 14 5	<u></u>
ソフトテニス(男子)															1	1 2	2	2	12 10	6 T					2	5	7	3 9	5 1	7 4	3	7	5 4	5	14				ソフトテニス(男子)	10	15 22 4	17
ソフトテニス(女子)															1	18 19	8	3	7 18	B					0	7	7	4 4	8 10	B 1	10	11	3 8	3	14	7 (6 8	21	ソフトテニス(女子)	22	21 26 6	.— 9
卓球(男子)			\top			\neg											\top			7					2	7	9	6 1	1 6 2:	3 6	14	20	3 3	4	10	6	7 8	21	卓球(男子)	15	21 18 5	<u>—</u> ј4
卓球(女子)																				7					1	6	7	1 9	3 1	3 3	20	23	3 7	2	12	2	2 10	14	卓球(女子)	6	18 15 3	 J9
バドミントン(男子)							6	8 14	2	1 4	7	1 1	0	2						╗					4	5	9	6 1	0 11 2	7 -									バドミントン(男子)	9	12 15 3	J6
バドミントン(女子)							0	6 6	2	1 1	4	2 1	0	3						╢			4 6	4 14	0	16	16 1	11 7	4 2	<u> </u>					į				バドミントン(女子)	19	15 9 4	13
ソフトボール									1											╗										╢						5 4	4 7	16	ソフトボール	5	4 7 1	16
		+													0	1 1	4	3	0 7	╗	0 1	1			0	1	1	3 4	0 7		2	2				4	2 0	6		11	9 0 2	 20
		\top													0	0 0	0	0	4 4	╗	2 1	3			2	1	3	1 0	2 3	1	1	2			i					1	0 6	— 7
剣道(男子)	2	6	в ;	3 2	2	7									0	2 2	1	6	3 10	╗╢╴					6	2	8	1 3	3 7	3	4	7							剣道(男子)	5	11 8 2	 24
	2	3	5 :	2 4	3	9			1						0	0 0				╗					1	2	3	0 2	8 10		3	4							剣道(女子)	2	6 11 1	19
						0								0	4	5 9				╗	4 2	6	1 4	0 5					0	0	1	1			0			0	スキー(男子) (城端中は陸上に記載)	1	4 0	 5
スキー(女子) (城端中は陸上に記載)	\Box	\top				0								0	0	3 3				╢	3 6	9	1 0	1 2					0	1	4	5			0			0	スキー(女子) (城端中は陸上に記載)	1	0 1	 2
(\top															+			╢					3	11 1	14	6 1	0 6 2	2									なぎなた	6	10 6 2	
	57	47 1	04			0			1		\dagger				64	31 95	5 0	1	1 2	╢					84	60 1	44		0	77	45	122	0 1	0	1	2	2 2	6	水泳(男子)	2	4 3	— 9
	62	27 8	19			0			1		\dagger				43	29 72	2 5	1	0 6	<u> </u>					81	40 1	21		0	51	1	_	0 0	0	0	4 (0 1	5	水泳(女子)	╀	1 1 1	11
 社会体育(サッカー)		-							+		\dagger				⊢	17 30		4		⊣⊦					╟╫					┪									社会体育(サッカー)	-	4 7 2	
社会体育(硬式野球)	\Box	\dashv				\dashv													0 2	⊣⊩					╟┤			+		$\dashv \vdash$					i	+			社会体育(硬式野球)	1	2 0	
 社会体育(バスケットボール)		\dashv				\dashv												1		⊣⊦					╟╫			\dashv		╢					H				社会体育(バスケットボール)	0		 1
						$\overline{}$					 									╢																						_
合計	147			7 50	49	146	6	14 20	4 2	2 5	11	3 2	0	5	147	134 28	1 62			Ш		1		10 34	215	253 4	168	65 10	90 26	184	222	406	46 44		!		41 69	! I	合計	293	305 320 9	18
【文化部活動】		: 特	設部															:	クラフチ		こか属(「	中体連ス	大会参加	下可)										:練習	当はスオ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ラフ等に	こて練習((中体連大会参加可) 【文化部活動】			
部活動名		・学生			波中		小	学生		井口中			削賀中		_ ′	小学生		城端	中		小学	:生		平中	/	小学生		1	福野中		小学生	ŧ	Ť	富光中	l		吉江中		部活動名		合計	
	1-3年	-6年 合		\rightarrow	3年	-	1-3年 4-	6年 合計	1年 2			1年 2年	3年	合計	1-3年	4-6年 合1			-	\dashv	-3年 4-6年	合計	1年 2年	3年 合計	11	_	_		年 3年 合 1	⊣⊢	4-6年			-		_	年 3年			_	2年 3年 셤	
吹奏楽	\coprod	-	_		7	-1			3 (4	7							7		⊣⊦					╟┈┆	23 2	_		5 12 3 !	⊣⊢		-	-	+	 	-	3 0		吹奏楽	+	39 46 1	
美術 (井波中は美術・生活文化)	\coprod	_	1	1 9	14	34			1	-							11	8	7 20	₿∐L					╟┈┆			_	5 9 3 8				6 11	9	—		2 6	-	美術 (井波中は美術・生活文化)	╂	45 45 1	
生活文化・家庭		_	\perp														\perp			╢			1 3	<u> </u>	II—∔	ĺ		4 7	4 1	5						0	1 3	4	生活文化・家庭		11 11 2	
郷土芸能			\perp														\perp			⅃Ĺ			14 14	14 42						⅃Ĺ									郷土芸能	14	14 14 4	,2
合計	0	0	0 2	2 18	21	61	0	0 0	3 (0 4	7	0 0	0	0	0	0 0	20	15	16 5	,	0 0	0	1 3	4 8	0	23	23 2	26 3	7 25 8	s o	0	0	19 16	23	58	4 (6 9	19	合計	95	95 102 2	92
				ĺ						ĺ	ĺ									IJL					IL					┚┖					<u> </u>					<u>'</u>		